

商業『課題研究』シラバス

北海道常呂高等学校

学年	3	単位数	4	授業形態	個別・一斉		
教科書(出版社)	なし		副教材等(出版社)	計画に合わせて購入予定			
学習目標	○商業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を学ぶ。						
学習方法	<p>○この科目は、興味・関心、進路希望等に応じて、『調査・研究・実験』、『作品制作』、『産業現場等における実習』、『職業資格の取得』の中から一つを選択し、自ら課題を設定し取り組みます。自ら学び、考え、主体的に判断するなど課題の解決を図る学習を通して、目標や問題に取り組む姿勢や取り組み方をしっかりと学びましょう。</p> <p>○『調査・研究・実験』はグループ活動になります。共同作業による協調性、対人力(コミュニケーション能力)の育成と多くの考えを組み合わせる編集能力を学びます。数名の希望者がいなければ実施できません。</p> <p>○『作品制作』は新商品の企画と開発、広告の制作、商品のパッケージのデザイン、データベースの構築、ビジネスに関する情報を処理するシステムの構築などに取り組みます。知識・技術的にも学ぶべき内容が多いのでしっかりとした目的を持つことが必要です。</p> <p>○『産業現場等における実習』は本校では実施できません。</p> <p>○『職業資格取得』については高度な産業資格となっていますので、安易な目標設定はできません。自分の進路を考え将来の職業を踏まえた目標設定をしてください。また、職業資格を取得する意義、職業との関係などに関して探究する学習も行います。</p>						
学習評価	評価の観点		評価の観点の趣旨				
	ア	知識・技能	目標に対して、しっかりとその仕組みを考え理解し取り組もうとしている。				
	イ	思考・判断・表現	必要な課題の解決方法を身に付けるよう努力するとともに、学習で身に付けた事を的確に表現する事が出来る。				
ウ	主体的に学習に取り組む態度	自分の将来の職業的自立に対して強い意欲を持ち、自分が取り組むべき課題を自ら考え、進んで努力している。					
観点	評価方法	①	②	③	④	⑤	⑥
		計画書	授業の取組	報告書・発表	作品提出	検定	自己評価
ア	知識・技能	○	○	○	○	○	○
イ	思考・判断・表現	○	○	○	○	○	○
ウ	主体的に学習に取り組む態度	○	○	○	○	○	○

学習計画

学期	分野	学習内容	評価の観点			評価規準	評価方法
			ア	イ	ウ		
前・後期	調査・研究・実験	○分野選択と計画作成	○	○	○	自分をとり巻く環境の中で課題を見つけ計画を作成できる。	①②⑥
		①現状分析と問題発見	○	○	○	現状と理想のギャップを細かな問題に振り回されず、背後に隠れている根本的な問題(メタ)としてまとめ上げることができる。	②⑥
		②仮説の克服課題設定			○	問題解決へ向けて自ら考えようとしている。	②
		③データによる検証(リサーチ)			○	ビッグデータ等の資料を調べ、仮説を検証することができる。	②⑥
		④問題解決方法の企画検討(具体策の考案)		○	○	問題の原因を整理し解決策を考えることができる。	②⑥
				○	○	ロジカルな思考(ロジックツリー、MECE(ミッシー))を使い問題の原因を整理することができる。	②⑥
				○	○	アイデアや意見集約にブレインストーミングやKJ法などを利用することができる。	②⑥
		⑤問題解決の提示			○	解決策で問題解決することを論理的に説明できる。	②⑥
		⑥問題解決の実践	○		○	解決策を理解し、協働で実践することができる。	②③⑥
		⑦問題解決方法の改善	○			問題解決のステップを理解し、解決のための様々な手法について理解している。	②⑥
⑧発表			○	相手に伝わるように工夫した発表ができる。	②③⑥		
⑨評価・反省	○		○	問題解決の一連の流れを振り返り、客観的に振り返り、評価することができる。	⑥		
評価の観点の合計			4	8	7		
評価	ア	知識・技能	4			A 4 B 3~2 C 1~0	
	イ	思考・判断・表現		8		A 9~7 B 6~4 C 3~0	
	ウ	主体的に学習に取り組む態度			7	A 4 B 3~2 C 1~0	

前・後期	作品制作	○分野選択と計画作成			○ 将来の進路を意識した課題を見つけ計画を作成できる。	①②⑥
		①作品企画・コンセプト説明	○		○ 作成する意図を論理的にまとめ説明することができる。	②
		②作品制作計画			○ 行事などに配慮した作成計画を効率的に作成できる。	①②
		③作成	○		○ 作品作成に関する基本的な知識を理解できる。	②
		・詳細設計	○		○ 作品の詳細設計を考慮することができる。	②④
		・プロトタイプの作成	○		○ プロトタイプを詳細設計に基づき作成できる。	②④
		・評価・設計変更	○		○ プロトタイプを検証し修正点を指摘し修正できる。	②④
		④デザイン・商品名	○		○ 作品完成に妥協せず評価・変更に取り組むことができる。	②④
		・デザイン	○		○ 作品のデザインや商品名をアイデアを出しながら考えられる。	②④
		・商品名	○		○ ユーザの立場に立ったデザインを考えられる。	②④
・知的財産権	○		○ 多角的に考え、商品名を考慮することができる。	②④		
⑤広告・販売戦略	○		○ 意匠権や商標権などの知的財産権について理解できる。	②④		
⑥作品発表	○		○ ユーザや消費者の立場に立った広告や販売戦略を考えている。	②④		
⑦評価・反省	○	○	○ 相手に伝わるように工夫した発表ができる。	②④		
		○	○ 作成過程を振り返り評価・反省を客観的にできる。	⑥		
評価の観点の合計		4	9	7		
評価	ア	知識・技能	4		A 4 B 3~2 C 1~0	
	イ	思考・判断・表現		9	A 9~7 B 6~3 C 2~0	
	ウ	主体的に学習に取り組む態度			7	A 7~6 B 5~3 C 2~0
前・後期	職業資格の取得	○分野選択と計画作成			○ 将来の進路を意識した課題を見つけ計画を作成できる。	①②⑥
		○希望職業に産業資格が必要なことを考え発表できる。			○ 希望職業に必要な知識・技術・能力について探究できる。	②③⑥
		○希望職業の現状を理解し、問題点や将来像を探究できる。			○ 取得計画を踏まえ、適切な問題集選定ができる。	②③⑥
		○年間行事予定を踏まえ、適切な学習計画を作成できる。			○ 学習計画に基づき、授業内外で計画的な学習ができる。	①②
		○学習過程で不明な点を調べたり聞いたりしながら理解するための努力を継続することができる。			○ 制限時間がある資格で反復練習を継続して取り組める。	①②
		○検定模擬問題で合格点を超えるレベルに到達できる。			○ 計画に従い、検定試験を受験している。	②⑥
		○検定結果を踏まえ、計画の修正や見直しをすることができる。			○ 1年間を振り返り、今後の糧となるような反省と学んだことをまとめることができる。	⑤
		○1年間を振り返り、今後の糧となるような反省と学んだことをまとめることができる。				①②⑥
		⑥評価・反省	○	○		⑥
		評価の観点の合計		5	7	11
評価	ア	知識・技能	5		A 5~4 B 3~2 C 1~0	
	イ	思考・判断・表現		7	A 7~8 B 6~3 C 2~0	
	ウ	主体的に学習に取り組む態度			11	A 11~9 B 8~4 C 3~0